



熊本県における 地域連携HACCP導入実証事業 の取組み



熊本県健康福祉部健康危機管理課

事業実施までの経緯

- 国のガイドライン改正を受け、H26年12月に条例改正を行い、H A C C P 導入型基準を新たに追加した。
- 本県では、H A C C P に関する事業は実施していなかった。財政状況から新規事業の実施は難しく、これまでの実施事業の範囲で地道にH A C C P を浸透させていくこととした。
- しかし、一方で、事業者のH A C C P の認知度が低く、どのように浸透させていくのかが課題となっていた。



地域連携H A C C P 導入実証事業
(国委託事業) に応募!



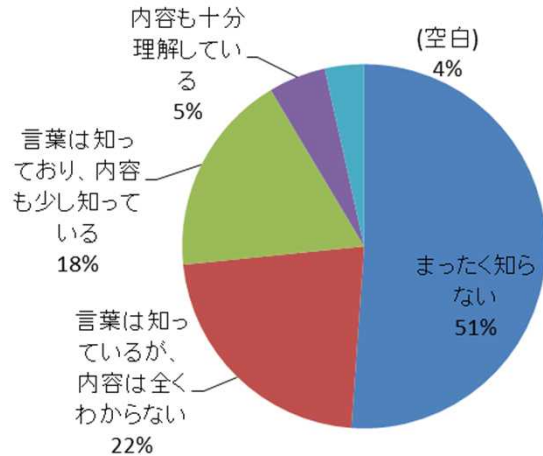
事業実施の経過

- H26年 5月 管理運営基準ガイドライン改正
- H26年 7月 HACCPに関するアンケート調査実施
- H26年 8月 熊本県食品衛生基準条例の改正作業開始
- H26年 12月 12月議会で条例改正
- H27年 2月 地域連携HACCP導入実証事業の募集
- H27年 4月 改正条例の施行
地域連携HACCP導入実証事業の内示
- H27年 6月 6月議会で補正予算決定
- H27年 7月 地域連携HACCP導入実証事業交付申請
- H27年 9月 地域連携HACCP導入実証事業交付決定
- H27年 10月 事業開始

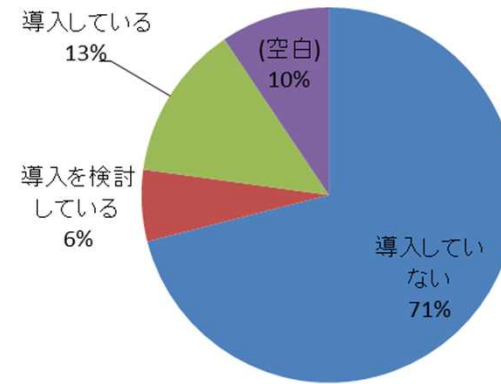


本県の食品事業者を対象としたアンケート調査 (H27年7~8月実施 回答者数804人)

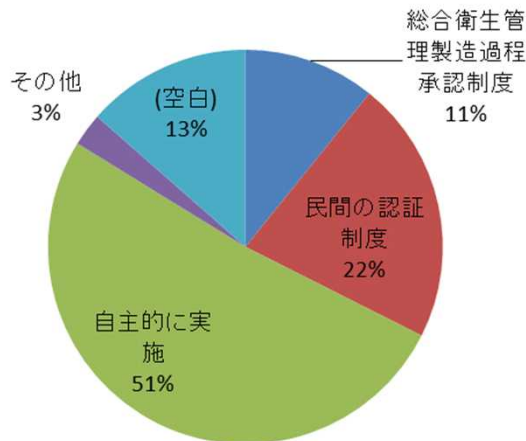
HACCPの理解度(全事業者)



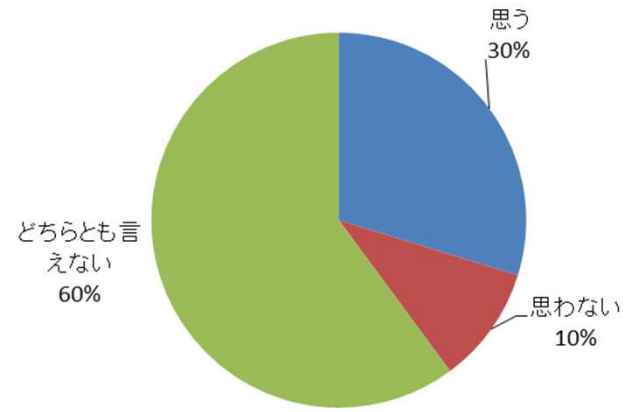
HACCP導入状況(食品製造業者)



HACCP種別(導入施設)



支援策が充実した場合 HACCP導入したいか



事業の趣旨及び目的

食品事業者アンケートから見た課題

- HACCPの理解度の向上
- HACCPを実践するための人材の育成
- 施設設備費や運営費用の確保

HACCP導入実証事業の目的

HACCP推進体制の基盤づくり
(どうすれば、HACCPをやりたい事業者が増え、実践できるのか?)

- 食品事業者のHACCPの理解促進
- 食品関係団体と行政機関の連携推進
- 食品事業者が抱える具体的な課題や問題点の把握
- 食品衛生監視員の指導力の向上 (支援ポイントの整理)

事業の内容

1. HACCP推進連携会議の開催
2. HACCPモデル事業の実施
3. HACCP研修会の開催
4. 食品衛生監視員の育成及び事業者支援マニュアルの作成



H A C C Pモデル事業

目的

- 中小規模施設におけるH A C C P導入の支援ポイントの整理
- 食品衛生監視員の指導力の向上
- 食品事業者が抱える課題や問題点の整理

実施施設

認証取得を主たる目的とせずH A C C P導入を希望する施設を保健所が選定：4施設

A施設：豆腐製造業

B施設：食品の冷凍又は冷蔵業、菓子製造業、そうざい製造業

C施設：食品製造業、菓子製造業、そうざい製造業、みそ製造業、缶詰又は瓶詰
食品製造業

D施設：食肉処理業

内容

- 外部コンサルタントを活用したH A C C Pプランの作成（A～C施設）
コンサルタント：サラヤ株式会社九州営業所食品衛生サポート部
- 保健所職員による食品事業者が作成したH A C C Pプランの検証（D施設）

外部コンサルタント活用施設における支援の方法

- HACCPプランの作成は、1施設1製品
A施設：もめん豆腐 B施設：たい焼き（冷凍食品） C施設：漬物
- 管轄保健所の食品衛生監視員（2名）、本庁職員（1～2名）、外部コンサルタントで支援チームを編成（希望する近隣保健所の職員も参加可）
- 支援チームによる支援を1施設あたり8回程度実施（うち、外部コンサルタントの参加は1施設あたり5回程度）
- 厚生労働省が作成した「HACCP入門のための手引書」を用い、HACCPの7原則12手順に沿って実施
- 支援の回数、内容、日程は、実施施設の状況に応じて設定
- 支援チームは、実施の都度、実施内容の振り返りと次回の予定の確認を実施
- 実施施設、外部コンサルタント、管轄保健所、本庁の各々が実施後に実施報告書を作成。（結果を次に活かす）

現在感じていること

- HACCPの知識の有無ではなく、実施施設のやる気が大事。
- 一般衛生管理が十分でない施設では、限られた時間でHACCPプランの作成支援を行うためには、時間のかけ方、力点の置き方に工夫が必要。
- 従業員が少ない施設では、HACCPチーム全員参加での作業が難しい。

H A C C P 研修会

目的

食品関係事業者が、H A C C P の考え方や基本的知識について学び、H A C C P 実践の意欲を高める。

対象

食品関係事業者（製造業を中心に）、行政関係者 定員100人

内容

- 説明「熊本県におけるH A C C P の推進について」 熊本県健康危機管理課
- 説明「H A C C P 支援法について」 九州農政局経営・事業部食品企業課
- H A C C P 実施施設からの発表 発表者：株式会社千興ファーム
- 講演「H A C C P 基礎講座～なせ今H A C C P なのか～」

講師：山口大学共同獣医学部 教授 豊福 肇 先生

H A C C P 推進連携会議


目的

- 食品関係団体や行政関係課のH A C C Pへの理解を深めることによりH A C C P推進の機運を醸成する。
- H A C C Pを導入するにあたっての課題や問題点を関係者間で共有し、その解決に向けた方策を検討する。

参加者

- 食品関係事業者：食品関係団体（9団体）、H A C C P実施施設（2施設）
- サラヤ株式会社九州営業所食品衛生サポート部
- 県関係者：本庁内関係課（10課）、保健所、食肉衛生検査所
- 国関係者：九州厚生局、九州農政局

内容

- 年2回開催（12月、2月）
 - H A C C Pに関する説明、H A C C Pモデル事業成果報告
 - H A C C P推進に係る意見交換
- 

食品衛生監視員の育成及び事業者支援マニュアルの作成

目的

食品衛生監視員の指導力向上

内容

- 全食品衛生監視員を対象とした研修会
 - ・ 講義及び演習 講師：（一財）日本科学技術連盟（予定）
- 経験年数の浅い食品衛生監視員を対象とした研修会
 - ・ HACCP実施施設の見学及び意見交換 講師：県内HACCP講師
- 事業者支援マニュアルの作成
 - ・ モデル事業の実施結果のまとめ

